

平成29年度「校外へ公開する研究授業」実施報告書

学校名	長野県蘇南高等学校	課程(全)
-----	-----------	-------

実施年月日(曜)	平成 29 年 11 月 13 日 (月)						
授業時間(時限)	12 時 50 分～ 13 時 40 分 (4 時限)						
公開学年・公開教科(公開授業名)	1 学年・国語総合						
授業者名	横山 菜摘						
形態	初任研・中堅研・教育課程研究委員会・ 小中高算数・数学研究会・その他 () (○をつける)						
授業公開対象者	どなたでも						
授業参観者数	校内		校外			その他 ()	合計
	教職員	保護者	教職員	地域住民等	生徒		
	10人	人	1人	人	人	11人	
校外の人々の参観にあたって特に配慮した取組							
授業研究会の時間・参加者の範囲・参加人数・参加者から出された主な感想・意見	13 時 50 分 ～ 15 時 40 分 総合教育センターの教科専門主事(藤原雅道)、教頭、国語科教諭 計5人 プリントは、正しい答えだけでなく、生徒が予想したものを書ける場所を作ったほうがよい。また、退屈する生徒が出ないように、様々な難易度のものを盛り込んでおくほうがよい。行間から読み取れる内容は、教師が説明してしまうのではなく、生徒に考えさせるようにしたほうがよい。指示語はまとめの言葉という認識を持たせ、それまでの内容を理解するための道具にするとよい。古文だからといって昔の話で終わらせないように、生徒自身に学んだ教訓の例を自分の生活の中で考えさせてみるとよい。						
成果と課題	今までの知識を活用してグループ内で分担して考えさせる時間を作ってみたらどうかという意見をいただき、「周りの人と協力して」考える時間を設けたところ、普段は積極的でない生徒が自分から発言するようになった。授業をどのように展開するかで自主性に違いが出ることを身をもって感じたため、生徒の学習しやすい授業展開ができるよう、授業の形を固めず、様々な方法を考えたい。						